取扱説明書

電気バイク

ＢＭＡ－62Ｐ

ＢＭＢ－62Ｐ

ＢＭＣ－62Ｐ

モービルジャパン

販売店

モービルジャパンの電気バイクをお買い上げいただきありがとうございます。

安全に留意し快適なバイクライフをお楽しみ下さい。

お車の引渡しについて

★ お買い上げになりましたなら、モービルジャパンまたは、モービルジャパン取扱店にてこの取扱い説明書を受け取り、下記の説明を受けてください。

● お車の正しい取り扱い方

● 保証内容と保証期間

● 点検･整備について

● 保証書の記入･捺印

運転免許について

★ 電動バイクを一般公道で運転するには、運転免許が必要です。ご自身の免許で運転できるか確認してください。

★ この電動バイクは、第一種原動機付自転車です。

★ この電動バイクの乗車定員は、運転者のみの１人です。

取扱説明書について

★ この取扱説明書には、電動バイクの取り扱いかた安全な運転の仕方簡単な点検の方法などについて説明して有ります。

★ 車の取り扱いかたを十分にご存じの方も、電動バイク独自の装備や取扱いが有りますので、運転する前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

★ 電動バイクを譲られる場合、次の方にこの取扱説明書を、お渡し下さい。

★ 電動バイクの仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容と実写が一致しない場合が有ります。ご了承下さい。

★ 取扱説明書は常時大切に保管してください。

尚、不明な点が有りましたなら、モービルジャパン又はお買い上げになりましたモービルジャパン取扱店まで、お問合せ下さいます様　お願い致します。

安全運転のために

心のゆとりと正しい服装が安全運転のきめ手です。
焦らずにゆとりを持って、道路交通法を守り落ち着いた運転を心がけましょう。

- 運転者は、必ずヘルメットを着用してください。法令でも定められています。ヘルメットの着用は、アゴヒモを確実に締めるなど、正しく行って下さい。
  ヘルメットは、頭にしっくりと合って圧迫感のない物をお選び下さい。
  ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の場合、死亡又は重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 運転者は乗車する時、必ずヘルメット、保護具及び保護性の高い服を着用してください。
  フェイスシールド又はゴーグルの使用
  くるぶしまで覆う靴の着用
  摩擦に強い皮製の手袋の着用
  長ズボンと長袖のジャケットの着用
  明るく目立つ色の動きやすい服装で尚且つ体の露出の少ない物を着用してください。
  裾の広いズボンや袖口の広いジャケットは、ブレーキ操作などの運動動作の妨げになり思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。

運転する前に

- 日常点検を行って下さい。
  電動バイクは常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。
  日常点検は、電動バイクを使用する方が１日１回運転する前に実施する点検です。
  安全快適にお乗りいただくために必ず実施してください。

  この車に適用される点検項目は、下記「日常点検項目」です。

日常点検項目

○　ブレーキ　　・ブレーキレバーの握りしろが適切であること
・　ブレ -キの効きが十分であること

・　ブレーキ液の量が適切であること

○　タイヤ　　・タイヤの状態が適切であること

空気圧・亀裂、損傷・異常な磨耗・溝の深さ

○　灯火装置及び方向指示器

○　運行において異常が認められた箇所

○　バッテリー（モービルジャパン指定点検項目）

・充電電圧　　バッテリーの充電が適正かどうか確認してください。

荷物

荷物を積むと、積まない時に比べてハンドルの感覚が少し変わりますから注意が必要です。積み過ぎると、ハンドルがふられ運転を誤ることが有りますので、積み過ぎに注意しましょう。

○　コンビニフックには、車体からはみ出したり、足に当たるような大きな荷物等は掛けないで下さい。インナーラックから荷物がはみ出さないようにしてください。走行やハンドル操作に支障をきたすことが有ります。

○　ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作が出来なくなる場合が有りますので物を置かないで下さい。

○　ヘッドライトレンズの前を荷物等で遮らないようにしてください。過熱によりレンズが溶けたり、荷物等まで損傷する場合が有ります。

○　石や鉄片など、硬くて重い物を入れたまま走行しないで下さい、積載重量以内でもトランク本体や車体が損傷する場合が有ります。

○　荷物は指定の場所以外には積まないようにしてください。カバー等が破損することが有ります

荷物の積載は下記重量までです。

インナーラックとコンビニフックの合計：　**1.0**Ｋｇ

シート下トランク：　**7.0**Ｋｇ

リヤキャリア：　**3.0**Ｋｇ（リヤボックス含む）

乗り方について

○　メインスイッチの操作は、座席に腰を掛けて、安全を確認してから操作してください。

○　走行中は、運転者は両手でハンドルを握り、両足をフロアステップに置いて下さい。

○　急激なハンドル操作や、片手運転は危険ですので避けてください。

○　この車両は一人乗りです、二人乗りは出来ません。

○　走行中の携帯電話の使用はお止め下さい。使用の際は安全な場所に停止してから使用してください。

○　急激なスロットルの開閉操作（ｽﾅｯﾋﾟﾝｸﾞ）は故障の原因となります。　スタンドを上げた状態で、スロットルを回さないでください。

駐車

○　盗難防止の為、車から離れるときには必ずハンドルロックをかけ、キーを抜いてください。

　メインスイッチのキーは必ずお持ち下さい。

○　水平でしっかりした地面の場所に駐車してください。

○　交通のジャマにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。

○　やむを得ず傾斜地や砂利等を敷いた所、でこぼこな所、地面の軟らかい所等に駐車せざるを得ないときには、車の転倒・動き出しの無いように、安全処置に十分留意してください。

改造

○　車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることは勿論、他の迷惑行為となります。

　このような改造に起因する場合は、保証修理等受けられません。

地球環境の保護について

お車及び部品などの廃棄をするとき

○　地球環境を守る為に、使用済みのバッテリーやタイヤ等はむやみに捨てないようにしてください。これらの物を廃棄する場合、モービルジャパンまたはモービルジャパン販売店にご相談下さい。また、将来お車を廃車する場合も同様です。お車の廃棄を希望するときには、お近くのモービルジャパンもしくはモービルジャパン販売店にご相談下さい。

バッテリーの取り扱いかた

バッテリーの保管、及び使用は周囲温度が　－１０℃以下、又は４０℃以上では行わないで下さい。

充電するときは、周囲温度が　０℃以上３０℃以下で行うようにしてください。
温度範囲以外ではバッテリーの破損、変形、早期劣化等の原因となります。

バッテリーは、密閉式のメンテナンスフリーバッテリーを使用していますので液の補充等は必要有りません。むやみに上蓋を開けないようにして下さい。

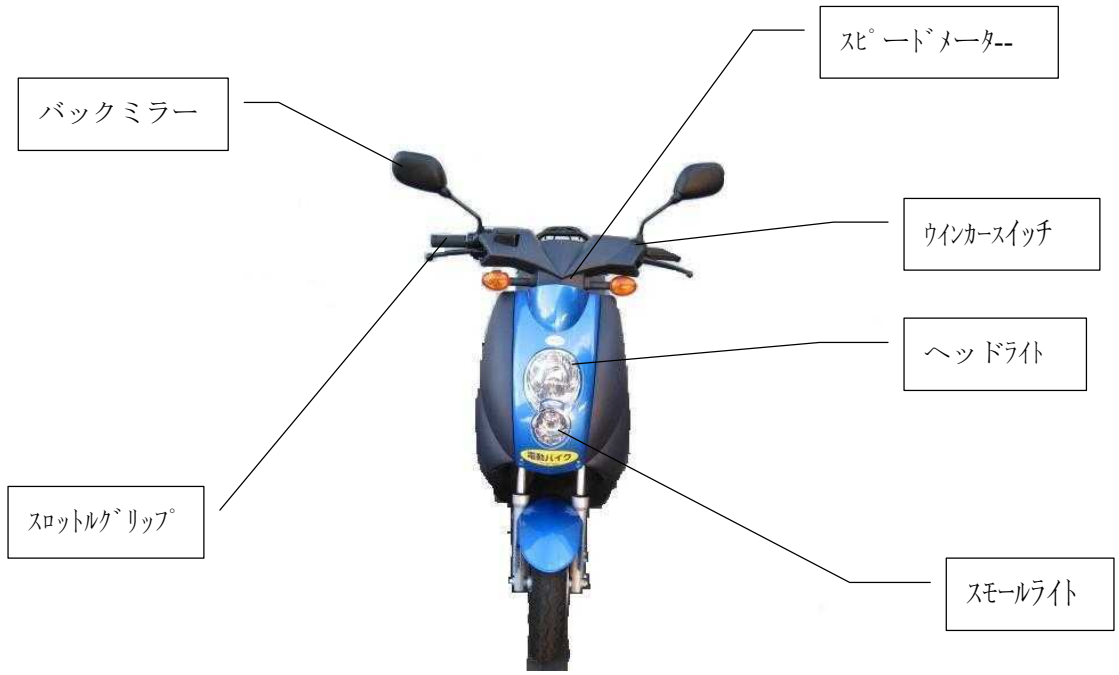
バッテリーは、メインスイッチが「ＯＦＦ」の状態でも、多少の自己放電をしていますので、使用しない場合でも１ヶ月に１～２回充電し常にフル充電して置いてください。

外気温が低い場合、バッテリーの性能が十分に引き出せない場合があり、走行距離が短くなったり、速度が出ない場合があります。

バッテリーの交換、修理、メンテナンス等が必要な場合は、イーエムランドまたはイーモービル取扱店に相談してください。

取り扱い方法　例としてＢＭＡ－62Ｐ　ほかの製品も同様です。

● 各部の名称



ﾊﾞｯｸﾐﾗｰ
ｳｲﾝｶｰｽｲｯﾁ
前照灯切替ｽｲｯﾁ
リヤキャリア
リヤウインカーランプ
ストップ＆テールライト
後　輪

○　メーターパネル

1:　速度計　（スピードメーター）

走行中の速度を示します。**原動機付自転車の法定速度は 30Km/h** です。　速度を守り安全走行してください。

2:　積算距離計　（オドメーター）

走行した総距離を Km の単位でしめします。

白地に黒数字は 100m の単位です。

4 桁目（1,000Km の位）黒に白数字で表示します。

3:　バッテリー残量計　（右側メーター）

バッテリーの電圧残量を示します。

H(満充電を示す)　L（低充電を示す）

走行中、負荷がかかった状態での表示がバッテリーの電圧の残量となります。

L 側に近づいたなら早めに充電をしてください。

4:　方向指示器表示灯

方向指示器の操作により左折または右折を音と点滅で知らせます。

5:　電源スイッチ表示灯　（POWER）

電源スイッチを差込み「ON」の状態で点灯します。

○　電源スイッチ

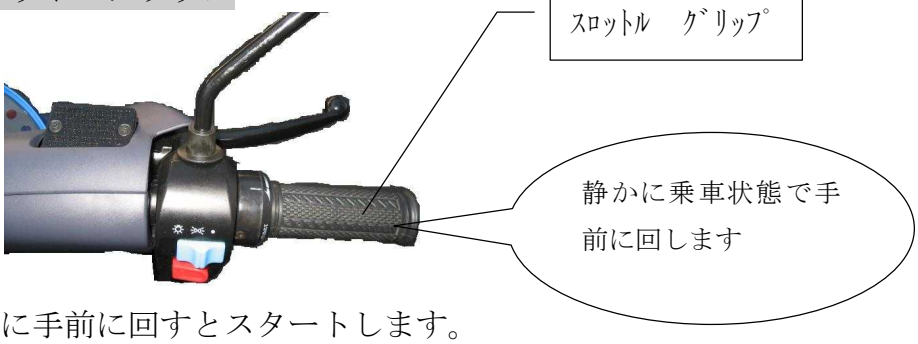
● 電源スイッチ

キーを差込み「LOCK」-「OFF」-「ON」へ回します。

- 「ON」:電源が入り走行出来ます。ヘッドランプが点灯出来ます。
- 「OFF」:電源が切れます。
- 「LOCK」:ハンドルを左に切り、キーを押しながら回すとハンドルロックされます。

＊ 標準としてキーは 2 本付いていますので、1 本はスペアーキーとして保管して下さい。

● スロットルグリップ



- 静かに手前に回すとスタートします。
- グリップの回し加減で速度を調節します。
  グリップを戻すと、速度が遅くなります。

●急激なスロットルの開閉操作（ｽﾅｯﾋﾟﾝｸﾞ）は故障の原因となります。
スタンドを上げた状態で、スロットルを回さないでください。

●Ｈｉ＆Ｌｏスピード切り替えスイッチ

手動でスピードの切り替えができます。

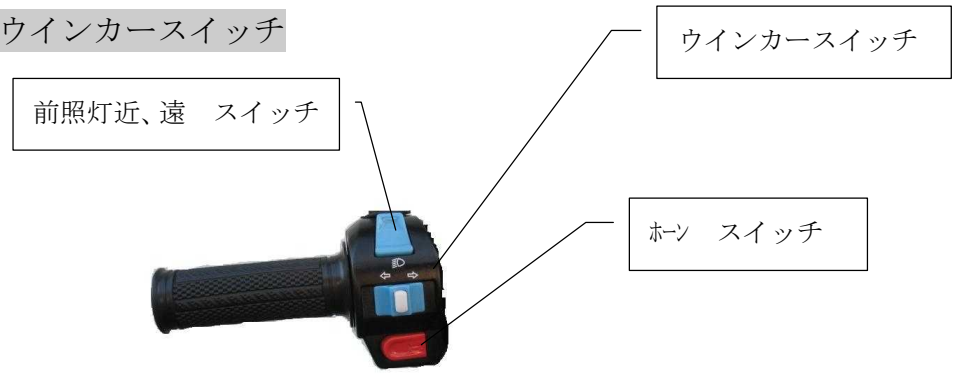
スイッチを右側に押すと、スピードモードに切り替わります。左側に押すとＬＥＤが消灯しパワーモードになります。坂道など力が欲しい時に使用してください。但し平坦地ではスピードモードよりも速度が落ちる事になります。道路の状況により使い分けて下さい。

Ｈｉ＆Ｌｏスピード切り替えスイッチ

走行中にスピードの切り替えをするときにはアクセルを一旦戻してから切り替えスイッチの操作を行ってください。アクセルを戻さないでスイッチ操作をするとモーターが止まる場合がありますので絶対に行わないでください。

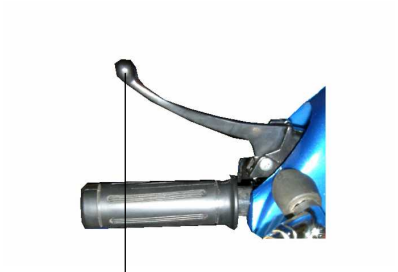
Hi モード時はバッテリーの電流の消費が多いのでご注意ください。

● ウインカースイッチ



- 進行方向を変える時、右左折時などウインカーランプを点滅させます。運転者の進みたい方向を表示させます。
- スイッチを左右に押すとウインカーランプが点滅と同時に操作盤の表示灯、点滅及びブザーが鳴ります。
- 真中を強く押すと解除されます。

- ホーン　スイッチ
  - 自分のまわりに、存在を知らせます。
  - ホーン　スイッチを押すと鳴ります。放すと止まります。
- ブレーキ



後ブレーキレバー

前ブレーキレバー

- スロットルグリップを戻してから、ブレーキレバーを握りますと停止します。
- 制動力を効果的に得るためには、前後ブレーキを同時に使用すると効果的です
- “はじめやんわり、あときつく”がブレーキの上手なかけかたです。
- 電流の過負荷防止の為に、ブレーキレバーを握ったままでは、スロットルグリップを回しても、電動モーターは回りませんので発進は出来ません。
- 座席

シート

ｼｰﾄﾎﾞｯｸｽ

ブレーカー

電源ｷｰで開閉出来ます

●座席の下にトランクがあります。
トランクへの最大荷物重さ：約 10Kg です。

- シートは電源スイッチのキーでシートのロックを解除してあけます。
- シートを閉めた後､完全にロックが掛かったか確かめてください。ロックしないで走行すると､走行に支障をきたすことがあります。
- トランクには充電器とヘルメットが収納できます。
ヘルメットの形状によって収納できないことも有ります。
- ブレーカー
故障などで電流が過負荷の時､自動で電源を遮断します。この時には手動で元に戻して下さい｡長い上り坂では働く場合があります｡ブレーカーが元の状態に戻らない時には､イーエムランドまたはイーモービル取扱店までご連絡下さい。

＊ キーをトランクに置き忘れた状態で座席を下げるとロックされ取り出すことが出来なくなりますのでご注意ください。

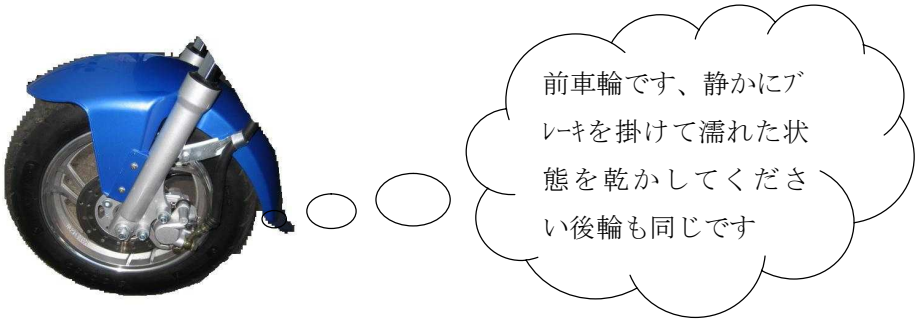
◎ 正しい運転の仕方

- **電源スイッチを「ON」にする時には、座席に腰を掛けて、安全を確認してから行ってください。**
- **電源スイッチが｢ON｣になっていることを忘れてアクセルにふれると急に走り出す危険があります。**
- 座席が正しく装着されているか確認して下さい。バックミラーが後方の確認を出来るように確認調節して下さい。

- キーを差込み電源スイッチを「ON」にします。
- バッテリー残量計で残量確認し、不足時は充電後使用してください。

- 発進走行
  - 前後、左右の安全を確認して下さい。
  - スロットルグリップを手前にゆっくり回してください
  - スロットルグリップを急に回すと急加速して危険です。
  - 走行中は、電源スイッチを切らないで下さい。
  - カーブ走行の時は、スピードの出し過ぎに十分注意して下さい。
- 正しい走り方
  - ○ スタート前に方向指示器スイッチで合図を出し、後方の安全を確認してからスタートしてください。
  - ○ 速度調整は、スロットルグリップで行います。
  - ○ 手前に回すと速度は速くなりますがゆっくり回してください。戻すと速度は遅くなります、すばやく戻してください。
  - ○ 不必要な急ブレーキは避けて下さい。タイヤをロックさせ車体の安定性を損なう恐れがあります。
  - ○ 雨の日や路面が濡れているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキを掛けるなど余裕を持って操作して下さい。
  - ○ 下り坂では、スロットルグリップを戻して、速度に応じてブレーキを掛けながらゆっくり走ってください。
  - ○ 連続的なブレーキ操作を避けて下さい。ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなる恐れが有りますので避けて下さい。
  - ○ 水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる事があります。

水たまりを走行した後などは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認して下さい。もし効き具合が悪い時はブレーキを軽く作動させながら、しばらく低速で走行し　ﾌﾞﾚｰｷを乾かして下さい。



○　雪道や凍った道はすべりやすので十分に気を付けて、走行しましょう。

○　止まる地点が近づいたら早めに方向指示器スイッチで合図し、後方や側方の車に注意し、徐々に左によります。

○　スロットルグリップを戻して、早めに左右のブレーキレバーを引きブレーキを掛けましょう。
制動灯（ストップランプ）が点灯し、後車への合図になります。

● 停止　及び　駐車

- スロットルグリップを戻してブレーキレバーを握ります。

- 駐車する場合は周囲に迷惑のかからない場所に移動し、駐車させて下さい。
- 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。

● 正しい駐車のしかた

○ 完全に車が止まったら方向指示器スイッチを戻し、電源スイッチのキーを「OFF」の位置にしキーを抜きます。
走行中にすると、思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず停車してから操作して下さい。

○ 電動バイクは無音、無振動です。電源スイッチが「ON」になっている事を忘れて、アクセルに触れると走り出す危険があります。

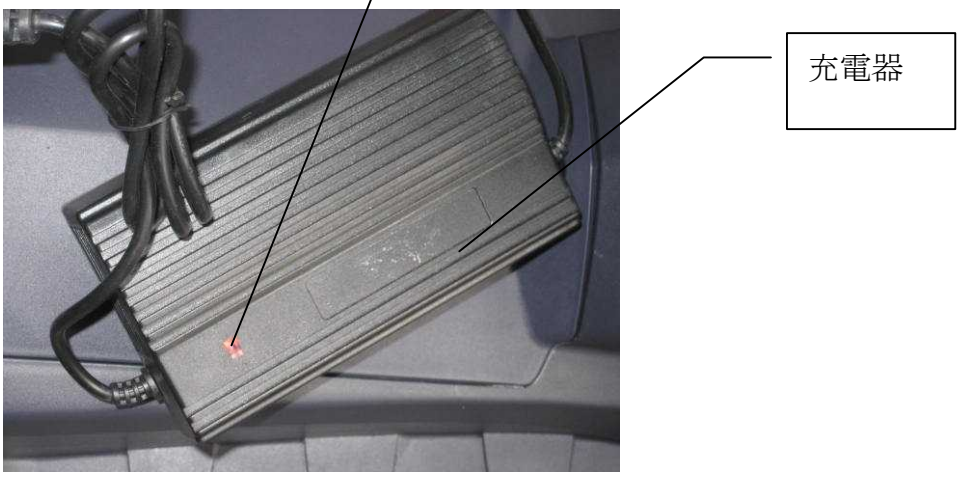
○ 左側に降りて、平らな場所でメインスタンドを立てましょう。

○ 左手でハンドルを真っ直ぐにし、右手でリヤキャリアをしっかり持ち、右足でスタンドの踏み付け部分を地面方向に強く踏むと比較的楽にセンタースタンドを立てる事が出来ます。

○ 盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックを掛け、メインスイッチのキーを抜きます。

◎充電の仕方

- 充電の仕方と注意点
  - 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。
  - 標準装備の充電器を取り出し、充電コードを差込み口にしっかり奥まで差しこんでから、片方のプラグを家庭用の AC100V コンセントに差し込んでください。
  - 充電時間は、バッテリーの状況、また気温等の環境により異なりますが、約 2～8 時間です。
  - バッテリーが新しい時は、充電時間は約 8 時間掛かります。
  - 充電が完了すると、充電機能は自動的に停止します。
  - 電源プラグを抜く時は、コードをもたず電源プラグの先端をもってぬいて下さい。又プラグの抜く順序は AC100V の方を抜いてから本体側プラグを抜いて下さい。
  - バッテリーは電源スイッチ「OFF」の状態でも、多少の自己放電していますので、1 ヶ月に 1~2 回充電し常に満充電にして置いてください。



● 充電器

電源「入り」と充電状態はランプで知らせます。

● タイヤ

● タイヤの溝の深さをデプゲージ等で測ります。規定値（5mm）以下の場合は交換して下さい。

測定は販売店等に相談してください。

タイヤサイズ
3.00-10

タイヤの摩耗
状態を表示

● タイヤの空気圧　　2.0~2.2 Kgf/cm²

● ブレーキ

● ブレーキレバー調節

ブレーキレバーを引いた時遊びが 6～8mm 内に成らない時は調節する必要が有りますので販売店に相談してください。

前輪ﾌﾞﾚｰｷ　ﾃﾞｨｽｸ

後輪ﾌﾞﾚｰｷ　ｱｼﾞｬｼﾀ

● アジャシタの凹部は、半回転ごとにピンの凸部に一致します。
調節後は一致していることを確認して下さい。

● 保管

● お車は出来るだけ自宅の敷地内に保管し、屋外の時は雨など濡れない場所に保管してください。

●大事なお車を守るには日頃のメンテナンスが重要です。

● 長期間保管する時は、必ず満充電にして下さい。

● バッテリーは電源スイッチが「OFF」の状態でも、自己放電しています、一ヶ月に 1~2 回充電して満充電の状態にして下さい。

● 困った時は、こんな時は

困った時　　NO1 走行前	
症状	チェックポイントと対応策
発進しない	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ↓ 電源スイッチを「ON」にして下さい。
	バッテリー容量がありますか？ ↓ バッテリーの充電を行って下さい。
	充電器用電源プラグは抜きましたか？ ↓ 電源プラグを抜き、ｺｰﾄﾞを収納して下さい。
	バッテリー容量がありますか？ ↓ バッテリーの充電を行って下さい。
	その他正常でないと思われる時には、モービルジャパンもしくは、モービルジャパン販売店にお問い合わせ下さい。

◎　　日常点検　及び定期点検整備

電動バイクをご使用の方の安全とお車を快適にご使用いただくため
法令により、ご使用前の日常点検と 6 ヶ月、12 ヶ月毎の定期点検整備を行うこと
が義務づけられています。かならず実施して下さい。

日常点検

● **お車を使用する人が、運転する前に実施する点検です。**

点検箇所	点検内容
ハンドル	緩み・ガタはありませんか？
	左右スムーズに動きますか？
スロットルグリップ	正常に作動しますか？
モーター	モーターの回転音に異常はありませんか？
ホーン	ホーンは鳴りますか？
ウインカーランプ	ランプは点灯しますか？警告音は鳴りますか?
後方点滅灯	ランプは点滅しますか？
ブレーキレバー	ブレーキは効きますか？
	レバーの遊びは適切ですか？
バックミラー	汚れ・損傷はありませんか？
バッテリー残量計	ランプが点灯しますか？
	（バッテリーの残量は充分ですか？）
ヘッドランプ	ランプ点灯しますか？
	汚れ・損傷はありませんか？
ナンバー用ランプ	ランプ点灯しますか？
座席	座席は正常ですか？
	緩み、ガタつき？
タイヤ	亀裂・損傷はありませんか？
	タイヤの溝の深さは適切ですか？
	金属片・石等の異物がささっていませんか？
	空気圧が適正ですか？（2.0~2.2Kgf/cm2）

メーカーサービスとして購入後 3 ヶ月以内の無料点検を実施しております。各部点検とねじの緩みを改善する増し締めを行います。ぜひ当社指定工場にお持込ください。

主要諸元表

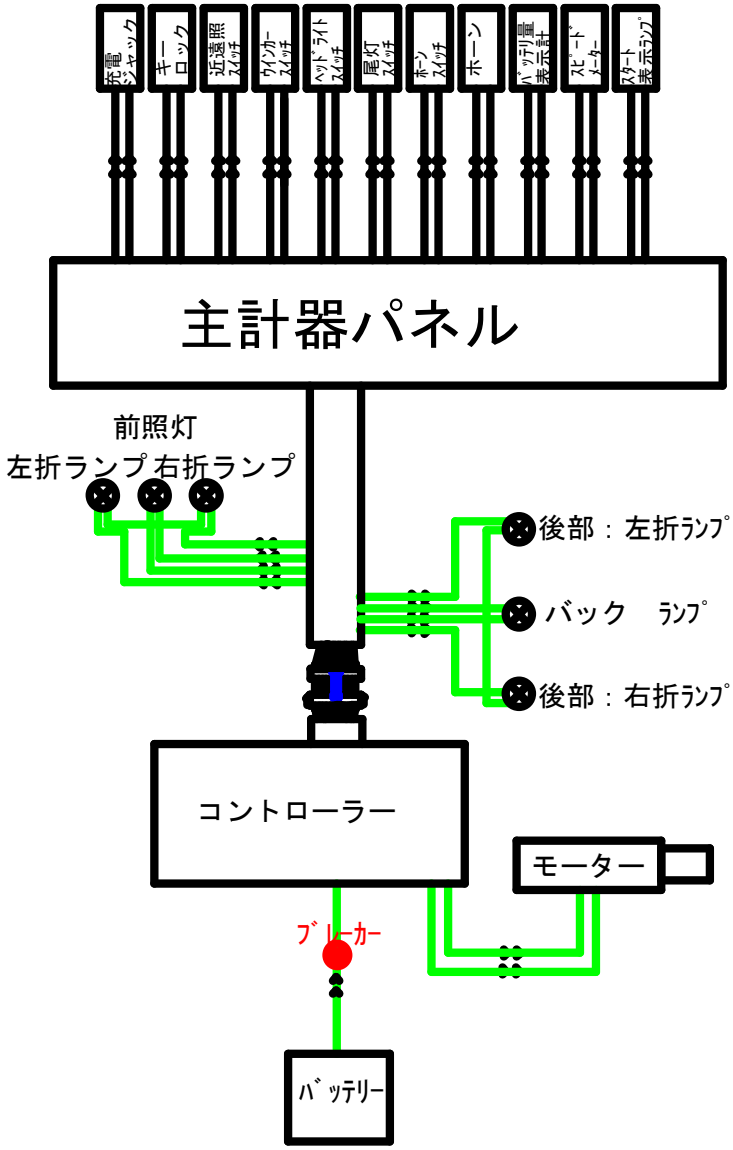
型式	BMA	BMB	BMC
型式	BMA－62P	BMB-62P	BMC-62P
全長	1，650㎜	1,860mm	1,820mm
全幅	660㎜	920mm	750mm
全高	1，050㎜	1,100mm	1,050mm
軸間距離	1，200㎜	1,250mm	1,270mm
最低地上高	140㎜	150mm	150mm
シート高	750㎜	750 ㎜	750 ㎜
車両重量（バッテリーむ）	83 kg	90kg	90kg
乗車定員	1名	1名	1名
1充電走行距離*	75km	75km	75km
最小回転半径	1．3m	1．5m	1．5m
タイヤサイズ	3.00－10	3.00－10	3.00－10
モーター出力	600W	600W	600W
バッテリー種類	鉛　シール電池	鉛　シール電池	鉛　シール電池
バッテリー	12V20A×5 個	12V20A×5 個	12V20A×5 個
フル充電時間	8h(100V にて)	8h(100V にて)	8h(100V にて)

性能

1充電走行距離*	時速 30kmで，定地を連続して走行した時の距離です。 実際の市街地では、信号や坂があり、目安としては 40km から 50km になります。
登坂角度	低速モードで 13 度の坂まで上れますが、長い坂道では急速に電池を消耗するため、登坂能力が落ちてきます。
最高速度	低速モードでは 40km/h、走行距離 50km 高速モードでは 60km/h、走行距離 40kmが目安です。
バッテリー	2～3 年が交換の目安です。古くなると走行距離、登坂角度、最高速度が落ちてきます。1 充電で走行できる距離が 60～70%になったなら、交換してください。

この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや写真及び内容などが一部実車と異なる場合が有ります。

電気系統図


充電ジャック
キーロック
近遠照スイッチ
ウインカースイッチ
ヘッドライトスイッチ
尾灯スイッチ
ホーンスイッチ
ホーン
バッテリ量表示計
スピードメーター
スタート表示ランプ
主計器パネル
前照灯
左折ランプ 右折ランプ
後部：左折ﾗﾝﾌﾟ
バック　ﾗﾝﾌﾟ
後部：右折ﾗﾝﾌﾟ
コントローラー
モーター
ﾌﾞﾚｰｶｰ
ﾊﾞｯﾃﾘｰ